モニタリングシート

施設名	台町　学童保育所

視点		評価項目		6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価(コメント)	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価(コメント)	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価(コメント)	期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	職員配置 【常勤数、非常勤数、加配数】	当日の児童数に見合った職員配置であるか 【日報】	B	児童数に見合った職員が配置されている	B 問題なし	B	児童数に見合った職員が配置されている	B 問題なし	B	児童数に見合った職員が配置されている	B 問題なし	B		B 問題なし
	定量的	資格者の確認【保育士、社会福祉士、2年以上の経験者、教員、その他】		B	児童数に見合った資格者が配置されている	B 問題なし シフト指導員6名、臨時指導員3名 うち保育士資格3名 教員資格4名	B	児童数に見合った資格者が配置されている	B 問題なし シフト指導員6名、臨時指導員3名 うち保育士資格3名 教員資格4名	B	児童数に見合った資格者が配置されている	B 問題なし シフト指導員6名、臨時指導員3名 うち保育士資格3名 教員資格4名	B		B 問題なし シフト指導員6名、臨時指導員3名 うち保育士資格3名 教員資格4名
	定量的	月報（学童保育状況報告書）・日報（育成日誌兼業務記録）の作成及び確認		B	月報、日報ともに作成され、適切に記載されている	B 所長確認後、月ごとに担当主査、課長が確認している。	B	月報、日報ともに作成され、適切に記載されている	B 所長確認後、月ごとに担当主査、課長が確認している。	B	月報、日報ともに作成され、適切に記載されている	B 所長確認後、月ごとに担当主査、課長が確認している。	B		B 所長確認後、月ごとに担当主査、課長が確認している。
	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか 【銀行口座の通帳の有無】	B	銀行口座は指定管理者の事務局が一括管理している	B 問題なし	B	銀行口座は指定管理者の事務局が一括管理している	B 問題なし	B	銀行口座は指定管理者の事務局が一括管理している	B 問題なし	B		B 問題なし
			資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【独立した会計帳簿】	B	会計処理は指定管理者の事務局が一括管理している	B 問題なし	B	会計処理は指定管理者の事務局が一括管理している	B 問題なし	B	会計処理は指定管理者の事務局が一括管理している	B 問題なし	B		B 問題なし
			延長利用料金の徴収は適正に行われているか 【独立した会計帳簿・日報、月報・銀行口座・領収書綴】	B	延長利用料金の徴収は適正であり、指定管理者全体で未収入をなくす努力がなされている	B 問題なし	B	延長利用料金の徴収は適正であり、指定管理者全体で未収入をなくす努力がなされている	B 問題なし	B	延長利用料金の徴収は適正であり、指定管理者全体で未収入をなくす努力がなされている	B 問題なし	B		B 問題なし
		収支計画が適正であること	収支計画が適正に執行されているか 【事業計画書（収支計画）・事業報告書】	B	収支計画は適正に執行されている	B 集金等がある場合は現金出納帳を付け、手作りお昼などの集金で多少の残金が出た場合は「赤い羽根募金」に募金する旨を保護者の方にお便り等で了解を得ている。	B	収支計画は適正に執行されている	B 手作りお昼・遠足・デリバリーお昼の集金は出納帳をつけ、特に手作りお昼に関しては食材費の残金が出ないように買い物をした。	B	収支計画は適正に執行されている	B 行事に参加のため徴収した参加費の収支については出納帳に記載、遠足の交通費はパスモ等持参を導入した。	B		B 行事に参加のため徴収した参加費の収支については出納帳に記載、遠足の交通費はパスモ等持参を導入した。
		管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	業務を実施するにあたり、研修等人材育成がなされているか 【研修件名・内容】	B	指定管理者独自の研修も多数あり、内容に応じて施設ごとに参加できる体制をとっている	B 研修委員会を組織し計画的に研修を実施している他市内・市外の研修にも積極的に参加している。また、常勤指導員はGA研修もに参加している。	B	指定管理者独自の研修も多数あり、内容に応じて施設ごとに参加できる体制をとっている	B 夏バイトへ新人研修を実施。指導員研修に参加。応急救護研修へ全指導員が参加している。	B	指定管理者独自の研修も多数あり、内容に応じて施設ごとに参加できる体制をとっている	B 各自内部・外部研修には積極的に参加している	B		B 各自内部・外部研修には積極的に参加している。食物アレルギー対応委員会を開催した。
			給与の支出が適切に行われているか 【給与規程・賃金台帳】	B	適切に支出されている	B 問題なし	B	適切に支出されている	B 問題なし	B	適切に支出されている	B 問題なし	B		B 問題なし
		施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	事業者の経営状況が健全な状態であるか 【確認資料例：財務諸表・財務評価表】	B		B 問題なし	B		B 問題なし	B		B 問題なし	B		B 問題なし
			業務の一括委託が行われていないか 【第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	B	特別な委託はない	B 問題なし	B	特別な委託はない	B 問題なし	B	特別な委託はない	B 問題なし	B		B 問題なし
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	入退所等関係書類が遅滞なく処理されているか		B	提出書類は遅れなく処理されている	B 重要な書類には受け取り証を発行し、施設の受付簿にも記録している。	B	提出書類は遅れなく処理されている	B 重要な書類には受け取り証を発行し、施設の受付簿にも記録している。	B	提出書類は遅れなく処理されている	B 重要な書類には受け取り証を発行し、施設の受付簿にも記録している。	B		B 重要な書類には受け取り証を発行し、施設の受付簿にも記録している。
	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開所日数、開所時間は守られていたか 【日報、月報・事業報告書】	B	開所の日数、時間とも問題なし	B 問題なし	B	開所の日数、時間とも問題なし	B 問題なし	B	開所の日数、時間とも問題なし	B 問題なし	B		B 問題なし
		施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか 【ファイル基準表（なければそれに準ずるもの）・実地調査】	B	文書は適切に管理・保存されている	B 問題なし	B	文書は適切に管理・保存されている	B 問題なし	B	文書は適切に管理・保存されている	B 問題なし	B		B 問題なし
			修繕等、施設保全が適切に行われているか 【事業報告書・実地調査】	B	施設は適切に保全されている	B 問題なし	B	施設は適切に保全されている	B 問題なし	B	施設は適切に保全されている	B 問題なし	B		B 問題なし
			備品の管理が適切に行われているか 【備品台帳・実地調査】	B	備品は適切に管理されている	B 問題なし	B	備品は適切に管理されている	B 問題なし	B	備品は適切に管理されている	B 問題なし	B		B 問題なし
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	定量的	放課後子ども教室への参加・連携がなされているか		B	参加している 職員が推進員となっている	B 放課後子ども教室の推進委員になり、連携を取っている	B	参加している 職員が推進員となっている	B 放課後子ども教室の推進委員になり、連携を取っている	B	参加している 職員が推進員となっている	B 放課後子ども教室の推進委員になり、連携を取っている	B		B 放課後子ども教室の推進委員になり、連携を取っている
		利用者の満足度は3．0以上であるか 【利用者満足度調査】											A	利用者の満足度は3.0以上である	B 問題なし
	定性的	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか 【相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B	苦情なし	B 苦情処理第3者委員会を設置・保護者からの相談等は常時行い、適切に対応している	B	苦情なし	B 苦情処理第3者委員会を設置・保護者からの相談等は常時行い、適切に対応している	B	苦情なし	B 苦情処理第3者委員会を設置・保護者からの相談等は常時行い、適切に対応している	B		B 苦情処理第3者委員会を設置・保護者からの相談等は常時行い、適切に対応している
	定性的	利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか	保護者（会）とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みが適切に行われているか 【おたより、連絡帳】	B	保護者会はあり、親子行事を1学期に1回行っている	B 月のおたよりのほか、一斉メール配信サービスを活用。　　玄関に掲示板を設置し日々の様子を記載、またお迎え時には子どもの様子を話すなどコミュニケーションを深めている	B	保護者会はあり、親子行事を1学期に1回行っている	B 月のお便りの他、一斉メール配信サービスを活用。親子行事を開催し、保護者との親睦に努めている。子ども理解を深めるために各学年の担任の先生と子どもの情報交換を行った。	B	保護者会はあり、親子行事を1学期に1回行っている	B 月のお便りの他、一斉メール配信サービスを活用。日々のお迎え時保護者へ様子をお話し、信頼関係を深めることに努めている。担任の先生とはいつでも連絡や情報交換が出来る体制になっている	B		B 月のお便りの他、一斉メール配信サービスを活用。日々のお迎え時保護者へ様子をお話し、信頼関係を深めることに努めている。担任の先生とはいつでも連絡や情報交換が出来る体制になっている
施設の運営において効率的な管理・運営が行われているか、経費の節減が図られているか	定量的	節電、節水等経費の節減に積極的に取り組んでいるか		B	節電・節水等に取り組み経費の節減に努めている	B 問題なし	B	節電・節水等に取り組み経費の節減に努めている	B 問題なし	B	節電・節水等に取り組み経費の節減に努めている	B 問題なし	B		B 問題なし
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	定量的	年間行事が計画通り実施されているか 【行事計画書、行事参加者名簿】		B	行事は順調に実施されている	B 問題なし	B	行事は順調に実施されている	B 問題なし	B	行事は順調に実施されている	B 問題なし	B		B 問題なし
	定性的	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市環境マネジメントシステム」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか 【ヒアリング等】	B		B 月1回、指導員ミーティング時に「八王子市　環境マネジメントシステム　ガイドライ」を参考に施設内で研修を実施	B		B 月1回、指導員ミーティング時に「八王子市　環境マネジメントシステム　ガイドライ」を参考に施設内で研修を実施	B		B 月1回、指導員ミーティング時に「八王子市　環境マネジメントシステム　ガイドライ」を参考に施設内で研修を実施	B		B 月1回、指導員ミーティング時に「八王子市　環境マネジメントシステム　ガイドライ」を参考に施設内で研修を実施
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定量的	防災訓練等（地震、火災、不審者、交通ルール等）が定期的に実施されていること		B	防災訓練等を毎月実施している	B 問題なし	B	防災訓練等を毎月実施している	B 問題なし	B	防災訓練等を毎月実施している	B 問題なし	B		B AEDをはじめ心肺蘇生法の講習を受講
	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	個人情報の保管等適切な管理のための必要な措置が講じられているか 【保管庫の施錠、マニュアルの整備、情報セキュリティの順守】	B	危機管理マニュアル等が整備されており、個人情報保管庫も施錠されている	B 危機管理マニュアルを整備、施錠等チェック表を活用し日々厳重に管理	B	危機管理マニュアル等が整備されており、個人情報保管庫も施錠されている	B 危機管理マニュアルを整備、施錠等チェック表を活用し日々厳重に管理	B	危機管理マニュアル等が整備されており、個人情報保管庫も施錠されている	B 危機管理マニュアルを整備、施錠等チェック表を活用し日々厳重に管理	B		B 危機管理マニュアルを整備、施錠等チェック表を活用し日々厳重に管理
	定性的	緊急（防火・防犯等）対応等危機管理体制が取られていること	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【保険証券】			B 問題なし			B 問題なし			B 問題なし	B		B 問題なし
			事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。また、適正に行えるよう体制が整っているか。 【マニュアル・事業計画書（事業計画）・事業報告書】	B	緊急時の対応が指定管理者施設全体で体系化されている	B 危機管理マニュアルを整備毎月防災訓練を実施	B	緊急時の対応が指定管理者施設全体で体系化されている	B 危機管理マニュアルを整備。毎月防災教育を実施。夏休み前に、八王子警察より講師を招いて、防犯教育を実施	B	緊急時の対応が指定管理者施設全体で体系化されている	B 月1回は防災教育を行う。立川防災館で実際に地震体験・煙体験、ミニシアターを観て防災教育をする。	B		B 月1回は防災教育を行う。立川防災館で実際に地震体験・煙体験、ミニシアターを観て防災教育をする。

期末総合評価	B
所管課コメント	市との協定内容のとおり、事業運営及び施設の維持管理が適正に実施されている。 指定管理者「社会福祉協議会」として、多くの施設を適切に管理・運営するためのノウハウが蓄積されており、マニュアルや帳票類等が整っている。課題があれば組織全体で解決していく姿勢が窺える。 研修も多く設定され、在籍する多くの職員に対して常に資質の向上が求められている。行事も多彩で、他の指定管理者にも参加を呼びかけるなど、多くの施設を運営しているスケールメリットを生かした取り組みを行っている。 本施設は学校内に設置されており多くの児童が在籍しているが、学校内で行われている学童保育待機児童の見守り事業とも連携するなど、学校からの理解・協力を得ながら安定した保育を行っている。